

## 地域人材ネット

「保育園留学」「小学校留学」からはじめる子育て家族  
の誘致と地域ブランディング

山本 雅也 ( やまもと まさや )

株式会社キッチンハイク 代表取締役 CEO



### ○ 登録者情報

所在地

東京都台東区

## 略歴

1985年生まれ、東京都出身。北海道檜山郡厚沢部町 在住。  
早稲田大学商学部卒業後、博報堂DYメディアパートナーズ入社。  
2012年に株式会社キッチハイクを創業し、「地域の価値を拡充し、地球の未来へつなぐ。」をミッションに、地域と生活者のつながりを育む地方創生事業を展開。  
北海道檜山郡厚沢部町を始め、累計100を超える過疎地域における持続的な地域創生の取り組みの評価を得て、2024年1月に地方創生SDGsの経験や知見のある専門家として「内閣府地方創生SDGs課題解決モデル都市専門家」に就任した。

### <受賞歴・メディア出演>

- ・保育園留学が内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム優良3事例に選定
  - ・保育園留学が内閣府地方創生テレワークアワード 地方創生大臣賞受賞
  - ・保育園留学が国土交通省地域づくり表彰 国土交通大臣賞受賞
  - ・北海道厚沢部町での保育園留学の取り組みが日本子育て支援協会 日本子育て支援大賞受賞
  - ・内閣府地方創生SDGs課題解決モデル都市専門家に就任
- その他、GOOD DESIGN賞・人気育児雑誌が選ぶ日本の子育てトレンド「ペアレンティングアワード」などの受賞や、おはよう日本、news zero、ミヤネ屋、Nスタ、シューイチなどのメディア放送も多数。

## 著書・論文等

- 著書『キッチハイク!突撃! 世界の晩ごはん』
- note執筆記事『保育園留学 — 地域発の静かな熱狂と、やわらかな定住という未来』  
<https://note.com/khmasaya/n/n771514a50d70>
- NewsPicksインタビュー記事  
<https://newspicks.com/news/7974068/body/>
- YADOKARI「世界を変える、これからの〇〇」インタビュー  
保育園留学が変える子育てと暮らしと地域の未来 | 山本雅也氏  
<https://yadokari.net/inspiration/82396/>

## 〇 「保育園留学」「小学校留学」からはじめる子育て家族の誘致と地域ブランディング

### 取組の内容

家族で地域に1-2週間滞在する、子ども主役の暮らし体験「保育園留学」を全国40地域で展開。子どもには大自然のなかで感受性を育む環境を、親にはリモートワークでの仕事と地域暮らしを両立できる環境を、地域には超長期的な関係人口創出や地域経済貢献をもたらします。  
さらに「保育園留学」の展開地域を中心に、子育て家族が抱える課題と地域課題を同時に解決する周辺サービス開発も促進。“子育てによいまち”としてのブランディング向上を目指し、自治体のパートナーとして中長期で伴走します。具体的な施策事例は、ふるさと納税の返礼品開発や英語ネイティブ保育人材の移住派遣、子育て家族に特化した不動産開発、地域産品流通支援、自治体DXなど。地域の遊休資産・資源である既存施設を活用した事業開発を行うことで持続可能な事業運営を可能にします。2024年からは、「保育園留学」と地続きになる「小学校留学」のスタートとともに、「子どもと地域の未来総研」を発足、過疎地域を中心とした自治体や地域企業との共創による地域創生を加速しています。



厚沢部町と認定こども園「はぜる」に感動し、厚沢部町へ移住(2022年)



内閣府 地方創生テレワークアワード地方創生大臣賞 受賞(2023年)

## 実績

「保育園留学」は、2021年に人口3,500人の過疎の町、北海道厚沢部町から始まりました。都市圏の子育てママ友同士がSNSで口コミを拡散、テレビや雑誌新聞の取材が殺到し話題に。2024年2月現在は熊本県天草市、新潟県南魚沼市、岐阜県美濃市など40地域へ拡大し、450家族(約1,500人)以上が参加。リピート希望率は97%、累計宿泊数は2万泊を超え、地域経済効果は1家族あたり20~40万円、留学後に移住する家族は7組以上に。1週間以上の期間、家族で地域暮らしを体験することで家族ぐるみでまちのファンになり、超長期的な関係人口創出に繋がっていると考えます。

## 工夫した点や苦労した点

「保育園留学」および「小学校留学」は“こども・親・地域”へ三方良しであるとともに、ひとつの事業で複数課題の同時解決を実践するイノベーティブな事業です。在園児への経験、保育士雇用、保育園の利益機会創出、地域へ経済貢献する持続的な仕組み、関係人口創出と移住推進、不動産の有効活用、さらに未来へも導くアプローチでもあります。

これからの時代は、ひとつの課題にひとつ解決策を見出す方法ではなく、複数課題を同時に解決できる発明がないと、次の社会に辿り着けないと考えます。保育園留学が、今これだけたくさん地域と連携できているのは、飽和状態に地域社会に対する一手として大きな可能性がある証明だと感じています。

## ひとつとPR

私たちは地域課題の当事者として「保育園留学」の企画開発・事業実装を中心に、こどもと地域の未来をつくる様々な価値創造に向き合ってきました。地域が抱える複数課題を同時に紐解きながら、こどもたちと共に、誰もが希望を抱ける固有な未来を培って参ります。ぜひ一緒に、取り組みましょう。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	○ その他 準公共施設の計画・実行
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 保育園・小学校などと連携した中長期滞在プログラムの開発
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	○ その他 移住体験プログラムの開発
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	人材研修
○ 働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
○ EBPMに基づく政策立案	
その他	

### 関連ホームページ

KitchHike 公式HP	<a href="https://kitchhike.jp/">https://kitchhike.jp/</a>
内閣府地方創生SDGs課題解決モデル 都市 専門家就任	<a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000198.000006899.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000198.000006899.html</a>
「保育園留学」が国土交通省「地域づくり 表彰」国土交通大臣賞を受賞	<a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000194.000006899.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000194.000006899.html</a>

### 連絡先

メールアドレス	partners [アットマーク] kitchhike.com	その他	
---------	---------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。